

「ひとを思いやり
ともに支え合う
よろこびあふれる
しあわせのまち ひとよし」をめざして



本市は、向こう三軒両隣の復興をめざして、平成22年度から平成26年度までの5年間を計画期間とする「人吉市地域福祉計画」を策定し、地域住民の皆さまや関係団体と連携・協働のもと、「すべての人が生きがいをもって、互いに力を出し合い、安心して豊かに暮らせる、幸せいっぱいのもちづくり」を基本理念として、地域福祉の推進に取り組んでまいりました。

しかし、現在、市民の3人に1人が高齢者となり、急速な少子高齢化や核家族化などで地域住民同士のつながりが希薄化し、住民生活の多様化とともに、公的な福祉サービスだけでは解決できない生活課題が増えてきている現状です。

これらの課題を踏まえ、このたび策定いたしました第2次人吉市地域福祉計画におきましては、地域の皆さまが、住み慣れた地域で、いつまでも笑顔で元気に、そして安心して暮らすため、平成27年度から平成31年度までを計画期間とする第2次人吉市地域福祉計画・地域福祉活動計画策定に向けて、地域福祉に関するアンケート調査や校區別地域座談会、専門職ワークショップを実施し、地域における課題や御意見をいただきました。

そこから見えてきた現状や課題から、自分や家族が実践できること、地域において取り組むこと、市や社会福祉協議会が担う役割をそれぞれ明確に盛り込み、市民みんなが地域福祉のまちづくりをめざしてまいりたいと存じます。

さらに、住民生活と密接に関連する福祉課題に的確に対応するため、第2次計画においては、人吉市社会福祉協議会が所管する人吉市地域福祉活動計画と併せて策定し、一体的な推進を図ってまいります。

本計画に掲げました施策は、福祉分野だけにとどまらず、市民の日常生活のすべてに関わってまいりますので、市民の皆さまをはじめ、関係団体の皆さまが、それぞれの立場で連携を図りながら、活動していただくことが重要な要素となってまいります。今後も、より一層の御理解と御協力をお願い申し上げます。

最後に、本計画策定にあたり、慎重なる御審議を賜りました人吉市地域福祉計画推進委員会の皆さまをはじめ、校區別地域座談会、地域福祉に関するアンケート調査等で貴重な御意見・御提言をいただきました市民の皆さまに、心からお礼を申し上げます。

平成27年3月

人吉市長・人吉市社会福祉協議会会長 田中 信孝